



国有地を映画ロケ地に使用(舞鶴市)

昨年(平成27年)、戦後70年に合わせ公開された映画「日本のいちばん長い日」の映画ロケ地として、近畿財務局舞鶴出張所が管理している国有地が活用されました。

近畿財務局舞鶴出張所は、京都府舞鶴市のPR、観光誘客や地域活性化を推進する舞鶴フィルムコミッション(舞鶴市産業振興部観光商業課)から「日本のいちばん長い日」の映画ロケ地に、舞鶴市内に所在する国有地を活用したいとの要望を受け、同市の観光客増加に寄与する取組みであることから、使用を承諾しました。

ロケ現場となった国有地は、旧軍の火薬工場の跡地で遺構も残っており、今後ロケ地を巡る観光コースとして活用予定であることから、観光客増加による地域の活性化も期待されるようです。

近畿財務局舞鶴出張所としましては、今後も地域や社会のニーズに対応した国有財産の有効活用に取り組んでいきます。



国有地内での撮影風景

(C) 2015「日本のいちばん長い日」製作委員会

映画「日本のいちばん長い日」公式サイト ➡ <http://nihon-ichi.jp/>

舞鶴フィルムコミッション公式サイト ➡ <http://www.maizuru-kanko.net/fc/>

